

ほらぐちともこ通信 第3号

2019年3月1日 No.3 TEL&FAX 03-3329-8813 E-mail info@horaguchitomoko.jp



「三代目のほらぐち」をよろしくお願ひします！

2月16日（土）、西荻に新設したほらぐちともこの事務所びらきを行いました。参加者約40人のうち半数が若者という、画期的な事務所びらきとなりました。その場で「挨拶しましたので、要旨を報告します。」

本日はお集まりいただきありがとうございます。地域回りやポスター貼り、また街頭宣伝を重ねてきて、少しずつ知名度が上がってきているなどという実感があります。

再開発とめた歴史引き継ぐ

何よりも長谷川ひでのりさん、北島くにひこさんの半世紀に渡る闘いを引き継ぎ、押し出して、長谷川・北島を引き継ぐ、三代目のほらぐちを存分に訴えていきたいと思ひます。時には「そんな右い女性で丈夫な」という叱咤激励を頂くこともありますが、そういう人たちの思いにも心え地域に根こした闘いをやっていきたいです。



長谷川ひでのり(写真左・元都議)、北島くにひこ(写真右・元区議)の闘いを引き継ぐ、三代目のほらぐちともこです。2月16日、西荻事務所前にて。

やはり阿佐ヶ谷再開発問題への注目と反応は凄いです。ずっと再開発と闘って来た歴史を持つ杉並で（※裏面に関連記事）、

小学校をつぶして大規模な商業施設を作り、小学校は河北病院の跡地に移転すると。区の説明で「豊洲と同じなんです」と認めざるを得ないほど、安全無視・住民無視の再開発計画を、田中区長が進めています。そしてこれと闘う議員が本当に少ない。既成政党が頼りにならない中で、私たちの闘い次第では本場に展望をこし開けられるんじゃないかと思ひています。

感動が次々と

最近すごく感動したのが、今ですと日本共産党に入ってきたという方が「支持します」と。共産党は現職が5人で、今回新人を2人出しているんですけど、「7人になったからって変わるの？ 天皇制やあらゆる問題に、絶対反対で闘う候補が必要だ」と。そしてもう一人。ずっと他候補を応援してこられた方がいて、「一回会ったときは「ごめんね」と言われたんですけど、二回目は変わってたんです、たった一週間で。「今の議会は、波一つ立たない平穏な川なんだ。そこにあなたみたいな小石を投じてみたい」と…！ 本

また今年は何んといっても、安倍政権が改憲を狙っています。戦争か、それともこの社会を根本から変えるのか、本場に大きな時代の分かれ目、歴史の転換点です。4月の区議選、7月斎藤いくまの参院選に向かって全力で闘っていきます。

当に何回も会って話して

いく中で絶対に分かり合えるし、そういう中で勝利ももぎ取れると思うので、熱意をもって頑張っています。足りないこともあると思いますが、皆さんの力を借りて、そして学びながら闘っていきます！



事務所びらきには、10代～70代まで幅広い世代が参加！

「高円寺北再開発を止めた力で、阿佐ヶ谷も止めよう！」 ー長谷川ひでのりさんの訴え



2月9日、私は「阿佐ヶ谷再開発に異議あり！討論集会」に参加しま

した。そこでほらぐちさんが「阿佐ヶ谷再開発は白紙撤回しかないのではありませんか？」と問題を提起したのは、とても重要なことです。しかし、ほとんどの区民は何も知らされていないのが現状です。私はその討論会で、次のような意見を述べました。

一つは、河北病院跡地に杉並第一小学校を移転することになっていますが、薬品類を多量に使用する施設の跡地にはおそろしく様々な有害物質が残存しているはずで、そんな所に児童・教職員を移すのは危険ではないかということです。東京ガスの跡地ー豊洲の土壌汚染が大問題になっていますが、それと同じことを杉並区はやろうとしています。

設して外から企業や商店を誘致すると言いますが、それを許せば、地元商店街が客を奪われて存続できなくなることは明白で、これほど地元をないがしろにするのはないがしろです。

三つに、杉並区は「2019年中、ないしは来年3月までに都市計画決定を」と言っており、区議選過程が反対の大事な時期になるということです。徹底的に住民に知らせて、反対の声と行動を届けることで、「白紙撤回」への道を開くことはできるのではないのでしょうか。住民の暮らしと子どもたちの命がかかっているのです。

1980年代の闘いが商店街を守った

杉並区は約30年の間、大型再開発を断念してきました。それは1980年代の「高円寺北再開発」が地元商店街の強い反対で阻止されたことによるものです。私たち都政を革新する会も、地元高円寺の商店街や住民とともに、議会内外で「高円寺北再開発」に全力で反対し、約15年かけて計画を撤回させました。

田中区政との闘いの天王山

田中区政は2013年に策定した「杉並区まちづくり基本方針」にもとづいて杉並区を7つのブロックに区分し、それぞれに再開発のプランをつくって次々と実行しようとしています。その一番の重要施策であり、全プロジェクトの突破口が「阿佐ヶ谷駅東北部再開発」です。「阿佐ヶ谷再開発の白紙撤回！」の闘いは、田中区政との闘いの天王山だと思います。これを止めればほかの再開発も止めることができます。田中区政は保育園や児童館の民営化などを推進してきました。「住民の暮らしや命よりも金」という、安倍政権と瓜二つの区政を、ほらぐちさんと一緒に変えていきましよう！



若者に人気の高円寺純情商店街も、粘り強い反対運動で守られた。

ほらぐちともこ
(洞口朋子)



1988年生まれ。宮城県仙台市出身。2008年に法政大学に入学し、全学連として活動。前進チャンネルメインキャスター。改憲・戦争、貧困に反対して奮闘中。

選挙スタッフ募集

ほらぐちともこ一諸に行動しましょう！とくに女性・若者の参加を待っています！

街宣スケジュール

- 3月2日(土)
 - 12時~13時30分 JR阿佐ヶ谷駅北口
 - 17時30分~18時30分 JR阿佐ヶ谷駅南口
- 3月9日(土)
 - 12時~13時 JR高円寺駅北口
 - 15時~16時 JR高円寺駅南口
- 3月16日(土)
 - 12時~13時 JR西荻窪駅北口

ほらぐち本人の訴えをぜひ聞いてください！質問・関心のある方は、03-6366-8133まで、お気軽にお電話ください。

ほらぐちともこSNS 毎日更新中！



@HoraguchiTomoko

ホームページ

<https://horaguchitomoko.jp>